

～平和のために～

わたしたちができること

目次

1 戦争中の食べ物・水

2 戦争での人の被害

3 核兵器の状況

4 核兵器の危険

5 わたしたちができること

6 まとめ

戦争中の食べ物

戦争のときの食べものは軍事優先で、腹をみたすには代用食を食べていました。代用食はさつまいもや、じゃがいも、さといもなどが食べられていて毎日十分にお腹いっぱいになりませんでした。そして戦争中のおやつはさつまいもをふかしたもののしか食べられませんでした。

原子爆弾での水は被爆者に大きなダメージを与えてしまいます。例えば、瀕死の場合、水をあげてもあげなくても亡くなってしまうことがあります。水をあげてしまうと安心してしまい亡くなってしまう可能性があり、しかも水分を取ると血流が良くなり怪我をしていた場合再び出血する場合があります。そのため、水をあたえてはいけません。



戦争での人の被害



戦争での人への被害はたくさんあります。

はじめに**火傷**について説明します。火傷は時間が経ったら膨らむことがあります。火傷は型が残ったり後に膨れ上がることがあり治らない場合など沢山の人が苦しんでいます。

次に病気について説明します。

次に病気に付いて説明します。病気では代表的に白血病が有名です。そして白血病という血液のがんにになってしまいます。他にも貧血による疲れ・顔色が悪い・めまい・息切れなどもあります。

最後に**放射線**について説明します。放射線を沢山あびて自分のからだを治せなくなってガンなどになった人がいます。他にも原爆直後には全身の脱力、吐き気、嘔吐がみられて約3週から2ヶ月後に脱毛と口内炎が発症し、さらに白血球や赤血球、血小板などの血液細胞を作れなくなったり胃や腸の消化管の粘膜が傷んだり脳の機能が障害されて痙攣を起こしたりします。

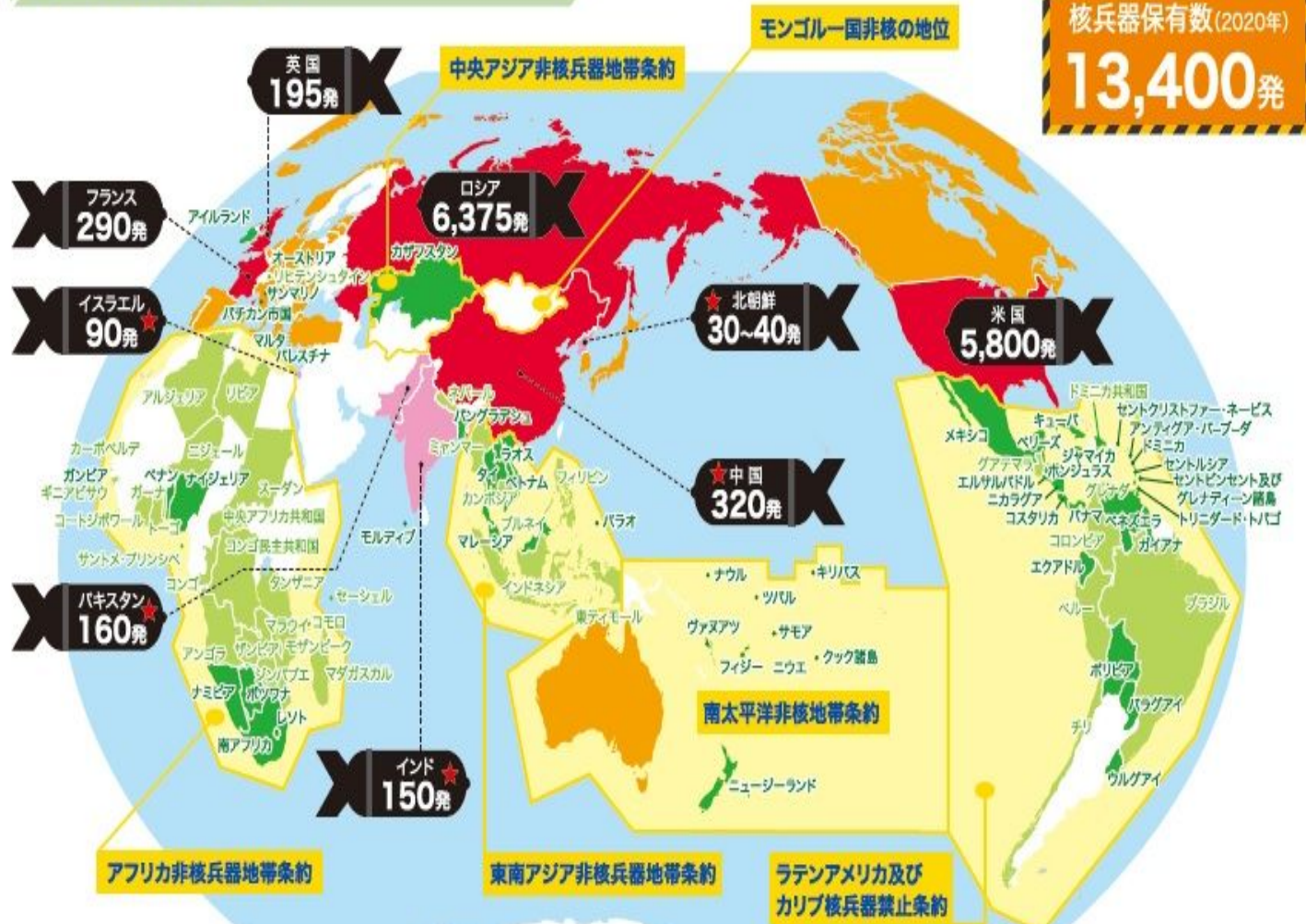
他にも、被害は外見だけではなく**心**も傷ついています...

核兵器の状況

ロシア	6,375発
米国	5,800発
中国	320発
フランス	290発
英国	195発
パキスタン	160発
インド	150発
イスラエル	290発
北朝鮮	30～40発

《参考》

国際平和拠点ひろしま 引用



核兵器保有数(2020年)
13,400発

核兵器の状況

核兵器を持っている国がたくさんあって、今でも核兵器を作っている国があります。一つでも強力な核兵器は世界で、**約13,400発**もあります。核兵器を体験した人は、何年間も苦しみます。



～核兵器の危険～

爆発した核兵器の温度はおよそ3000℃から4000℃の高温の熱、約10秒で4km先に到達した衝撃波、たくさん浴びる放射線を放出します。損傷により永久的に視野に障害を負うことが予測され、そのエネルギーは多くの人々を殺害し、家屋や建物、そして日常生活を破壊し環境に害を与えました。

核兵器を受けて亡くなった人は、**約50万人**です。



わたしたちができること

わたしたちができることは、身近な喧嘩をなくす事やいま当たり前のようにある食料、水、健康などを大切にするのが今、わたしたちができることです。



まとめ

このように、戦争ではたくさんの被害や苦しみを人々に与え続けています。

戦争中は、食べるものが少なく、おなかいっぱいにならなかったのです。また、戦争によって体や心にいたみや苦しみをうけています。

核兵器の危険は、爆発、放射線、熱、などを放射するのでたくさんの命が奪われるのです。

だから戦争について、自分事として考えてみてみませんか？みなさんで戦争のない平和な世界を守っていきましょう。